

<資料2の参考資料>

- ・ 出前授業概要資料 (p. 1～p. 17)
- ・ 現場見学会（土木工事1日体験）概要資料 (p. 18～p. 21)
- ・ 令和7年度高知県建設業活性化事業費補助金申請事業 (p. 22)
- ・ 魅力発信に係る資料（北海道コンストラクション甲子園の様子） (p. 23)
- ・ 女性活躍に関する研修資料 (p. 24～p. 27)
- ・ 入札参加資格概要 (p. 28)
- ・ 高知県人材育成事業費補助金（R6年度創設）について (p. 29, p. 30)
- ・ 令和7年度入札・契約制度改正の概要資料 (p. 31)
- ・ 生産性向上と技術力向上への支援 (p. 32)
- ・ 令和7年度働き方改革支援研修・コンプライアンス研修（HP画面） (p. 33, p. 34)

参考資料

■ R7出前授業実施箇所一覧 (R7.7月時点)

○10市町で実施

○プログラム内容

- ・座学 (土木事業の概要、防災学習)
- ・体験授業 (ICT建機、ドローンの操縦)
- ・若手技術者との意見交換会

No.	市町村	協会支部	土木事務所	小中学校	実施日	対象学年	授業内容の拡充内容 (デジタル化が進む建設業のPR強化)	参加者数 (実績)
1	いの町	伊野支部	中央西	伊野南中学校	令和7年5月28日(水)	全学年	○座学 ICTの活用 (測量設計・工事施工) による生産性の向上及び労働環境の改善→担い手確保に向けたPRの拡充	50
2	須崎市	高陵支部	須崎	朝ヶ丘中学校	令和7年6月10日 (火)	1年生・2年生		117
3	梶原市			梶原中学校	令和7年6月11日 (水)	全学年		63
4	室戸市	室戸支部	室戸	室戸中学校	令和7年6月13日 (金)	2年生	○座学 ・建設現場でのICT施工事例を説明 ○体験授業 ・ドローンを使った操作体験	23
5	仁淀川町	高吾北支部	越知	仁淀中学校	令和7年6月20日(金)	全学年	○体験授業 杭ナビを使った測量体験	32
6	宿毛市	宿毛支部	宿毛	宿毛東中学校	令和7年7月15日 (火)	3年生	○座学 ・ICT施工の工事紹介 ○体験授業 ・ドローン操作体験時に活用による成果紹介	37
7	四万十町	高幡支部	四万十町	窪川中学校	令和7年7月11日(金)	2年生	○座学 ・ICT活用工事の施工写真による事例紹介(ドローンによる3D測量、設計計画作図、施工、完成)	56
8	安芸市	安芸支部	安芸	安芸中学校	令和7年6月16日(月)	全学年	○体験授業 ・小型ドローン操作 ・小型ドローンにて橋梁等点検業務実演	253
9	土佐清水市	土佐清水支部	土佐清水	清水中学校	令和7年7月8日 (火)	2年生	○座学 (土木事業の説明) の中でICT等DXが進んでいることを紹介	57
10	四万十市	中村支部	幡多	中村西中学校	令和7年5月1日	2年生	○座学 ・建設現場のデジタル化について ・BIM/CIM について(構造物設計3D化の事例紹介)	66
計								754

R7年度 中村西中学校 出前授業

実施内容

- 実施日: 令和7年5月1日(木)
- 参加者: 2年生 (66名)
- 参加者: 高知県(幡多土木事務所長・幡多地域本部)
高知県建設業協会(中村支部)

- スケジュール:
13:25~14:20
1 土木という選択肢(幡多土木事務所)
2 防災学習 (幡多地域本部)
14:30~15:15
1 ミニバックホウ操作体験(建設協会中村支部)
2 ドローン体験 (建設協会中村支部)

写真

幡多土木授業



防災学習



ドローン体験



バックホー体験



R 7 出前授業の概要（清水中学校）

1 実施概要（清水中学校）

- 実施日: 令和7年7月8日(火)
- 参加者: 中学2年生(57人)
- 主催者: 高知県土木部 幡多土木事務所 土佐清水事務所
- 協力: 高知県建設業協会 土佐清水支部
高知県危機管理部 危機管理・防災課 幡多地域本部
- 授業内容: ドローン・建設機械操縦体験
防災学習、土木事業説明

2 出前授業写真

ミニバックホウ操縦体験



ドローン操縦体験



防災学習・土木事業説明



Draw the Future

「土木という選択肢」

～建設業への理解を深める一目～

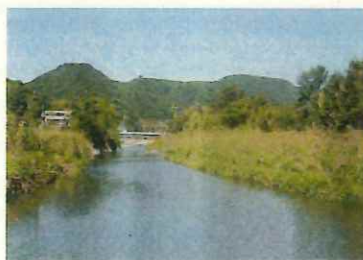
令和7年度 中村西中学校
出前授業

高知県土木部
KACHI PREFECTURAL CIVIL ENGINEERING DEPARTMENT

令和7年5月1日（木）

高知県幡多土木事務所

土木ってどんな仕事？



私たちの日常で欠かせないものを作り守っていく仕事



土木ってどんな仕事があるの？

1 建設会社

工事現場で実際に
工事をする

2 コンサルタント

工事計画の立案・測量調
査・設計を行う

3 公務員

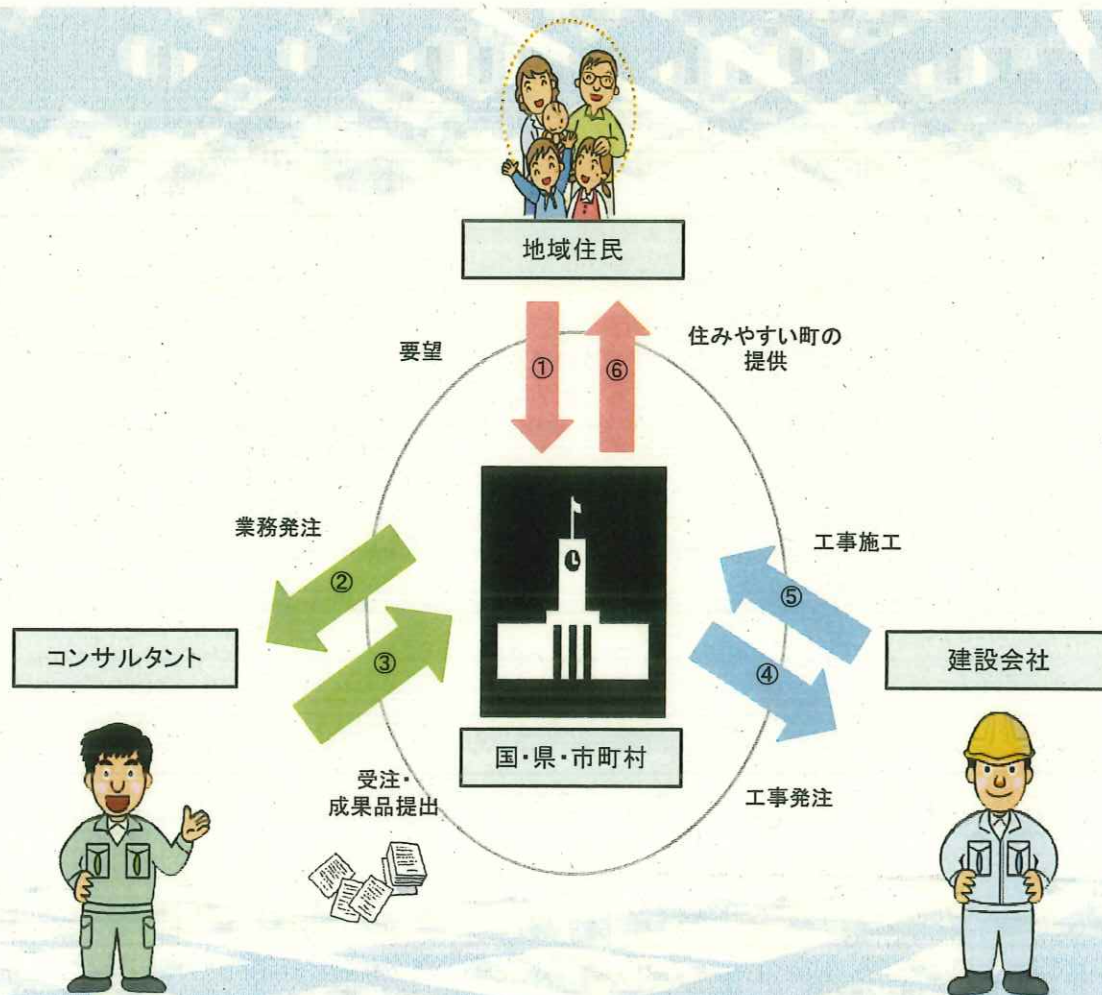
工事の計画段階か
ら完成に渡り、全体
を管理する

ものづくり

現場の設計

マネジメント

3者の連携により1つの事業を実施しています





高知県の主な取り組み

1. 南海トラフ地震対策

<住宅の耐震化>

地震により被災した住宅



<浦戸湾の地震津波対策>

三重防護対策(高知港海岸)



2. 豪雨等災害対策

<河川改修>



1級河川桜川(須崎市)

<ダム建設>



和食ダム建設現場(芸西村)

3. まちの発展につながるインフラ整備

<四国8の字ネットワークの整備促進>



黒潮佐賀に付近

<1.5車線の道路整備>



県道畑山橋ノ木線(安芸市)

高知県の主な取り組み

★ 建設現場のデジタル化

<これまで>

<これからは>

【測量方法】

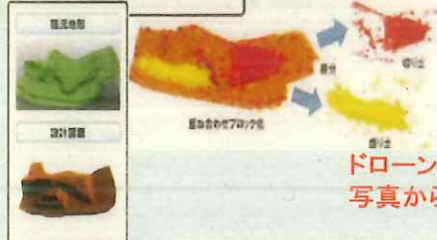


各地点ごとに機械を据えて測量



ドローンの活用

【設計方法】



ドローンで撮影した写真から自動算出

【工事現場】



丁張りの設置

それに基づき重機を動かす



3次元データを搭載した重機が自動施工

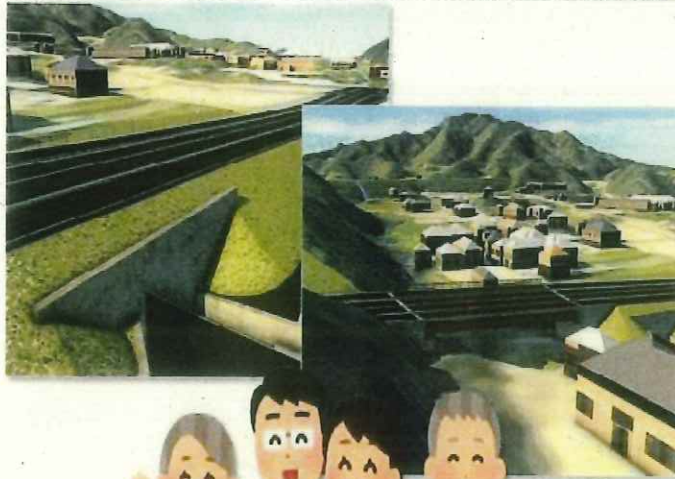
高知県の主な取り組み



出典：国土交通省 四国地方整備局
四国技術事務所 資料

高知県の主な取り組み

① 事業の可視化（速やかな事業説明や合意形成）



事業説明が伝わる

事業説明・計画が上手く伝わるので、
認識の相違を解消したうえで
本題協議に集中！！

合意形成が得られる

事業序盤から認識の相違を解消
事業終盤でも認識相違が発生しない



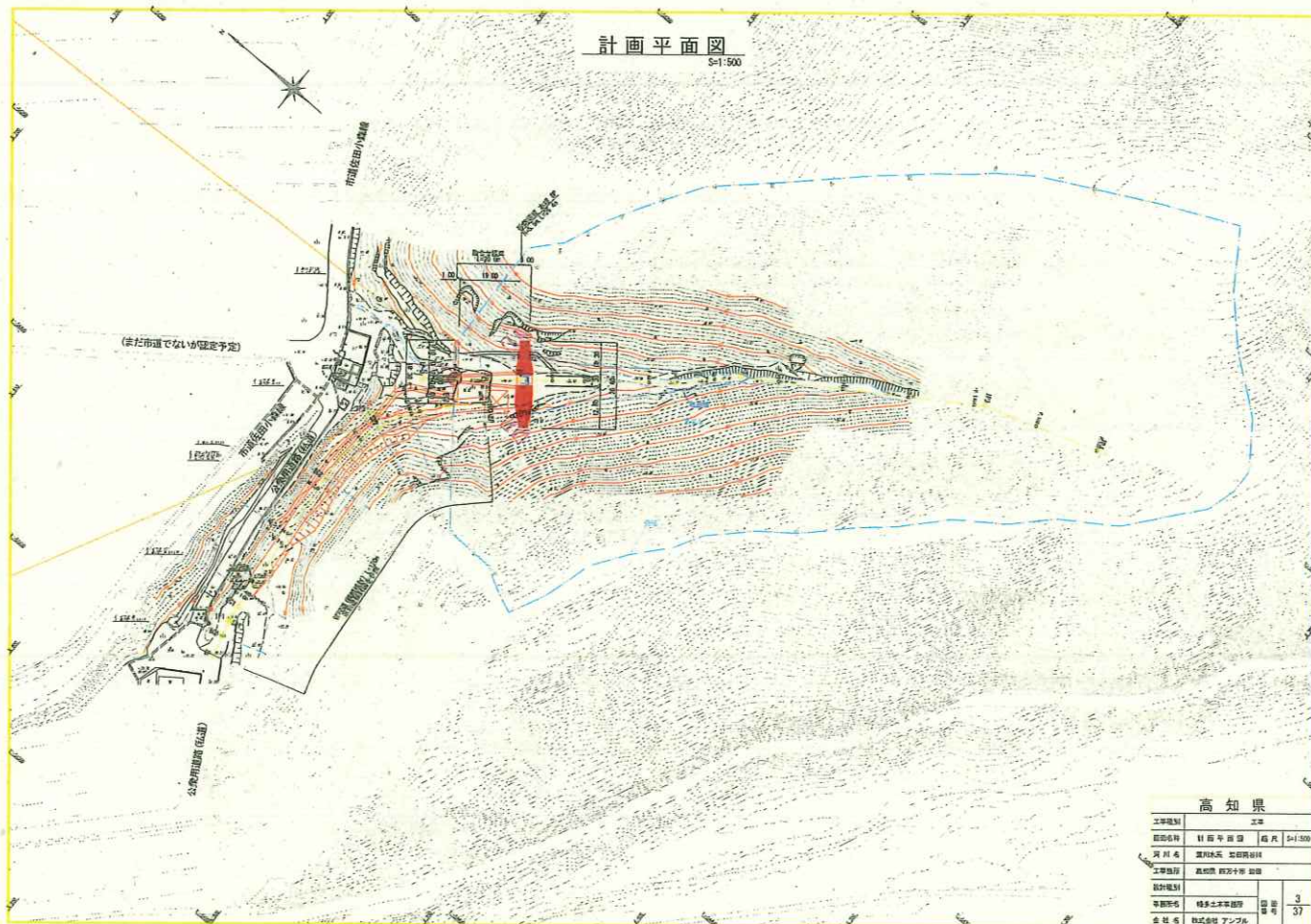
出典：国土交通省 四国地方整備局
四国技術事務所 資料

高知県の主な取り組み

⑦ 維持管理・点検分野への展開を含めた将来像【河川事業編】



出典：国土交通省 四国地方整備局
四国技術事務所 資料



土木事務所ってどんな仕事をしているの？

幡多土木事務所の現場紹介

★ 道路の新設・改良

○ 国道441号 口屋内バイパス



西土佐や愛媛県への
アクセスを向上!



○ 歩道の整備



幡多土木事務所の現場紹介

★ 公園

○ 土佐西南大規模公園



・運動施設の整備



テニスコート

・遊具の整備



サッカー場



他にも、体育館やトイレ
などの施設整備も行っ
ているよ!



幡多土木事務所の現場紹介

★ 道路の維持管理・修繕・耐震

○ 道路冠水による通行規制 R5/6/2台風

○ 四万十川橋(赤鉄橋)



○ トンネル照明更新 (LED化)



幡多土木事務所の現場紹介

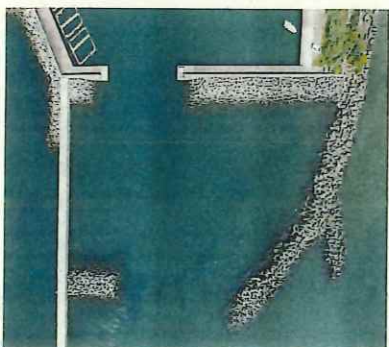
★ 漁港・港湾

佐賀漁港



消波ブロックの取付け
港内にたまった土砂の撤去
老朽化した施設の修繕など

漁業者にとって利用しやすい
港を作ってます！



★ 海岸事業

◆ 越波による被害を減らす



◆ 古くなった堤防の補強



幡多土木事務所の現場紹介

★ 土砂災害対策(土石流)

砂防ダム(四万十市深木)



土石流や流木を受け止め
下流に住む人達を守る

★ 土砂災害対策(がけ崩れ)

待受式擁壁(西土佐長生)



がけ崩れを防いだり、
土砂の崩落や落石から
家を守る

幡多土木事務所の現場紹介

★ 河川(浸水対策)

楠島川のショートカット
(四万十市楠島)

河川をショートカットし
速やかに下流に流すことで
家屋等の浸水被害を防止



★ 河川(災害復旧)

壊れた河川護岸の復旧(黒潮町加持)



洪水により壊れた
河川護岸を復旧し、
堤防の決壊を防止

何のために工事をしているの？

◆建設業の役割とは

- ・自然災害への対応や、公共施設の整備や維持管理などを通じて、県民の生活を守る。
- ・また、道路・河川・ダム・港・上下水道など、生活の基盤を整備し、便利で快適な社会をつくるために必要不可欠な存在です。



みんなが住みやすく、災害に強い町をつくるため



建設業への進路選択について

高校生以降の進路について

- ①工業高校（土木系学科）進学
- ②高専（工業高等専門学校土木系学科）進学
- ③普通高校⇒大学/専門学校（土木系学科）進学



卒業後



土木系の学校を出てなくても、土木の仕事をしている先輩たちもたくさんいます！

- ◆公務員⇒高知県職員採用試験（土木）の受験
- ◆民間⇒民間採用試験の受検

ご清聴ありがとうございました



皆様の安心・安全のために
日々精進して参ります。

中村西中学校の皆さんも少しでも土木に興味をもていただけたら嬉しいです！



R 7 出前授業 掲載記事①

- メディアへのPRを積極的に実施し、多くのメディアに出前授業が取り上げられました。
- 実施日：令和7年6月16日(月)
- 学校名：高知県立 安芸中学校

KUTVテレビ高知で放映

「建設業に興味がなかったけど興味を持つようになりました」
建設業界について知る出前授業 安芸中学校の生徒250人が参加
高知県建設業協会青年部連合会が実施



KUTV テレビ高知
国内 暮らし・マネー

2025年6月16日(月) 18:29



(生徒)

「ドローンを操縦するのが一番楽しかったです。建設業に興味がなかったけど興味を持つようになりました」

「これまでは、建設業は建物を建てるだけかなと思っていたけどドローンとか操縦していたので、珍しい体験ができて楽しかったです」

主催者は、今後もこのような授業やイベントを続け業界のイメージ向上に繋げていきたいとしています。

- 実施日：令和7年6月11日（水）
- 学校名：梶原町立梶原中学校

高知新聞 掲載記事
R7.6.18

梶原中生が建設機材体験

業者ら出前授業「土木は地球の彫刻」



バックホーやドローンの操縦を体験する
梶原中の生徒ら（梶原町川西路の梶原中）

【須崎】若手人材の確保を目指して建設業を知ってもらう出前授業がこのほど、梶原町の梶原中学校（川西路）であった。1、3年生33人が重機やドローンなど現場を支える機材の操作を体験。県職員や工事担当者ら建設会社社員ら「土木のプロ」にやりがいを感じ、関心を深めた。

県のまとめでは、2020年時点の県内建設業従事者は約2万5千8、33・1%を占める60歳以上の熟練者の過半数で、今後の担い手不足が危惧される。11日の出前授業は須崎、中土佐、津野、梶原4市町の県建設業協会（代表支部）主催。県建設土木事務所の若手職員が太郎川地区の国

道1号歩道整備工事や計画中の砂防ダムなど身近な土木工事を紹介した。

さらに生徒は雨害トラフ地震や豪雨時に起こりうる土砂災害を、VRゴーグルで体験。時速40kmの土石流が目の前に迫ると「おおお」と体をのけぞらせた。建設会社社員に教えてもらい、現場の効率化に役立っているというドローンやバックホーを1人ずつ操縦した。

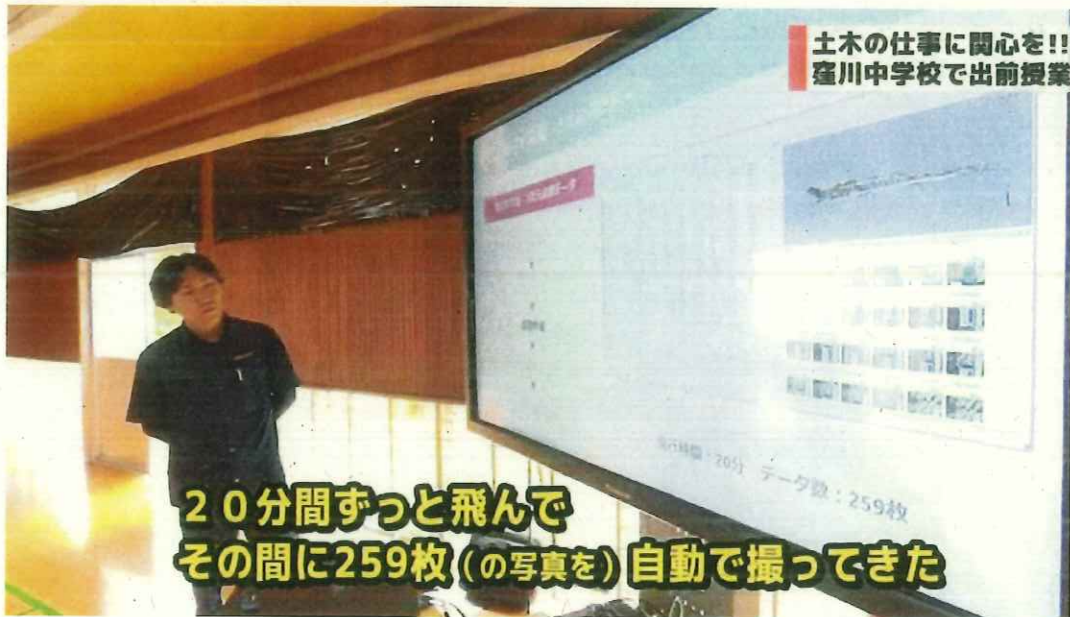
2年の中越恵美さん（13）は「建設業は道路を整備するイメージだったけど、自然災害を防ぐ仕事もしている幅広い」と興味が湧いた様子。生徒からは「一番難しかった仕事は？」「やりがいはある？」と率直な質問があり、社員らは「難しくて何とかが解決する。でぎん工事はない」「僕は技術屋系だ。土木は地球の彫刻です」と思いを語っていた。

（須崎明佳）

R 7 出前授業 掲載記事③

- 実施日：令和7年7月11日(金)
- 学校名：四万十町立窪川中学校

四万十ケーブルテレビで
放映



生徒さんの声（放送内インタビューより）

「(建設業は)きついと思っていたけれど最近ドローンとかが出てきて、それですごく楽になったということがすごいと感じた、カッコいい仕事だなと思った」

「ドローンを操縦したりリモコンなどの機会を操縦したりした操作は難しいがすごいと思った。」

「ドローンとかを使うようになって仕事の手間が省けたり、より正確になっていてすごいと思った。」

「機械を操縦するのは、難しいけど誰かのためになっていると考えたときに、うれしくなると思うので楽しそう」

土木工事 1日体験

参加者募集

開催日

8/24

土曜日

令和6年

募集人数
(各会場)

学生 15名

保護者を含む30名程度



【体験内容】
ドローン操縦体験



建設重機見学
(ICT施工*体験)

◆裏面の説明をご覧ください。

※各写真は過去開催時の様子です。
今回の体験内容とは異なる場合があります。



若手技術者との
意見交換会

今年も県内の学生を対象に、「土木工事1日体験」を
安芸地域・高知地域・幡多地域の3会場で実施します。
この機会に、ぜひご参加ください。

お申し込み先 (集合場所・体験会場とは異なります)

A 安芸
受付

建設業協会 安芸支部
【有限会社磯部組】安芸郡奈半町乙3781-1
TEL: 0887-38-4721 担当: 中山・黒岩
isobe-jimu@isobegumi.com



B 高知
受付

建設業協会 高知支部
高知市本町4-2-15
TEL: 088-822-0322 担当: 池本
chiku01@beach.ocn.ne.jp



C 幡多
受付

建設業協会 幡多支部連合会
四万十市右山元町3-3-26
TEL: 0880-35-3433 担当: 野中
kcahatashibu@athena.ocn.ne.jp



募集期間

令和6年7月31日(水)まで

●各会場の集合場所、時間は 裏面をご覧ください。

お申し込み方法

参加する生徒の ①お名前、②ふりがな、③学校名、④学年、⑤生年月日、⑥住所、⑦携帯電話の番号、⑧集合場所までの交通手段を、左記A～Cの希望する会場受付にメールでお申し込みください。保護者の方も同様の内容(学校名と学年を除く)を記載してお申し込みください。当方で保険に加入させていただきます。なお、いただいた個人情報は、当目的以外に使用いたしません。

主催

高知県建設業協会 高知市本町4-2-15
TEL: 088-822-6181

協力: 高知県土木部、安芸土木事務所、高知土木事務所、幡多土木事務所

※スマートフォンで右の二次元コードを読み込んだページ上部にある、「⇒メール作成画面はこちら」のリンクをタップしてください。

R 6 土木工事1日体験 高知地域

参考

1 実施概要（高知地域）

- 実施日：令和6年8月24日（土）
- 参加者：生徒12名、保護者8名
- 主催者：高知県建設業協会
- 協力：高知県土木部、高知土木事務所

- 日程：
 - 9:30～12:00 バックホウ、ドローン操縦体験、杭ナビ宝探し
 - 13:10～14:00 土木概要説明、土木映画鑑賞
 - 14:00～14:30 若手技術者との意見交換

2 当日の様子

①現場説明



②バックホウ操縦体験



③ドローン操縦体験



ICTに興味津々

④杭ナビ宝探し



⑤土木概要説明、意見交換



建設業の重要性、魅力などを説明

3 意見交換会での質問・回答・感想等

	質問・感想	回答
1	土木の最新技術はどういう人が初めに使うのでしょうか。	大手建設企業が開発者と使用するケースが多いが、場合によっては地方の建設企業が携わることもあります。
2	現場の道が白くなっているのは何故ですか。	道路と違い、あまり人が通らないので、アスファルトより安価なコンクリートを使用しています。
3	道路をつくったりより多くの人に貢献できるため、建築よりも土木に進みたい。県外の土木系大学に進学し、高知が好きなので、高知の建設会社に就職したい。	-

R 6 土木工事1日体験 安芸地域

1 実施概要（安芸地域）

- 実施日：令和6年8月24日（土）
- 参加者：生徒6名、教師1名
- 主催者：高知県建設業協会
- 協力：高知県土木部、安芸土木事務所

【日 程】

- | | |
|-------------|-----------------|
| 9:10～9:40 | 土木事業について説明 |
| 9:40～12:00 | ICT測量およびICT建機体験 |
| 13:00～14:00 | ドローン操縦体験 |
| 14:00～14:30 | モバイルスキャンコンテスト |
| 14:30～15:00 | 若手技術者との意見交換会 |

2 当日の様子

①座学（土木事業について）



②丁張り作業体験



ICT建機の操縦を体験

③ICT建機操縦体験



④ドローン操縦体験



⑤モバイルスキャンコンテスト



⑥若手技術者との意見交換会



より建設業について知ることが出来ました。

3 意見交換会での質問・回答・感想等

	質問・感想	回答
1	土木の仕事を選んだ理由を教えてください。	・中学校の時に西日本豪雨があり、道を直してもらったことが土木の仕事を選んだ理由です。 ・高校での連携授業や、担任の先生から勧められたのがきっかけです。
2	仕事での失敗談や困ったこと、その解決法を教えてください。	・仕事で使う道具の名前や置き場所をなかなか覚えることができませんでしたが、すぐに先輩に聞いて覚えるようにしています。 ・入社してすぐに修繕の仕事を担当した際、セメントをきれいに均すための水をつけすぎて、表面の仕上がりが汚くなってしまったことです。
3	先輩たちとのコミュニケーションの取り方をおしえてください。	・最初は仕事について色々聞いて教えてもらうなかで、プライベートのことについても話しをすることで、仲良くなりました。 ・現場が同じ人と休み時間に話したり、趣味の話をする事でコミュニケーションをとっています。

R 6 土木工事1日体験 幡多地域

1 実施概要（幡多地域）

- 実施日: 令和6年8月24日(土)
- 参加者: 生徒7名、保護者1名
- 主催者: 高知県建設業協会
- 協力: 高知県土木部、幡多土木事務所

【日 程】

- ～09:00 集合(高知県建設業協会幡多支部連合会)
- 10:10～11:10 現場見学(春遠ダム(春遠第1ダム)本体建設工事)
- 12:10～13:00 昼休憩
- 13:10～13:50 ドローン操縦体験(不破河川敷)
- 14:15～15:00 若手技術者との意見交換会

2 当日の様子

① 現場見学



② ドローン操縦体験

3 意見交換会での質問・回答・感想等

	質問・感想	回答
1	・土木技能者になりたいと思い参加した。 ・公務員(土木)を目指しており、どんな仕事か知れたかった。	—
2	現場の業務は難しそうだと感じた。	—
3	(現在の建設業における労働環境について説明)	・週休2日で祝日も休める。(以前、休みは日曜日だけだった。) ・有給も取得でき、年末年始やお盆などには長期休暇もある。 ・以前と比べ、給料も含めて労働環境はかなり良くなっている。

令和7年度高知県建設業活性化事業費補助金 申請事業一覧

※令和7年4月23日(水)に補助金審査会を実施

申請団体	No.	実施事業	目的	事業内容
一般社団法人 高知県建設業協会	①	こうち建設フェスタ2025	高知県の建設業界の魅力を身近に感じ、業界を知るきっかけを提供するため。	若年層に向けたドローン操縦体験やバックホー乗車体験、高所作業車乗車体験、重機展示などの建設関連のブース・イベントを開催する。
	②	メディアを通じた広報	担い手確保のため、若年層に届く業界の広報・魅力PR動画を展開することとで、職業選択肢の一つとして認識してもらうため。	これまでの笑い芸人を進行役に加えて建設業で働く人が食べる昼食を切り口に、建設業のやりがいや魅力を伝える内容である「現場の力飯」に続き、新たな魅力PR動画を作成し、リクルートホームページへの誘導やYouTubeのインストリーム広告としても活用することとで広く情報発信を行う。
	③	土木工事1日体験	担い手確保の観点から、日ごろ、建設業と接点の少ない中学生や普通科の高校生にも参加していただき、進学や就職の際に建設業を選択肢の一つとしてもらうこととや、選択する際に影響力の大きい保護者や教員の方々にも理解を深めてもらうため。	高知県土木事業所の協力ののもと「土木工事1日体験」を安芸地区・高知地区・幡多地区の3地区で開催する。体験内容としては、ドローン操縦体験や建設重機見学等を実施するほか、建設業の理解が深まるよう、若手技術者との交流も行う。なお、チラシの配布を令和7年度は、県内すべての中高生に拡大する。
	④	若者層向け出前授業	小中学生などの若年層を対象に出前授業を行うこととで、早い段階から建設業に触れて建設業に興味を持ってもらい、将来、建設業を職業選択肢の一つに加えてもらうため。	進学やドローン操縦体験・重機操縦体験・ICT体験等を実施し、土木の魅力ややりがい、重要性などを伝える。
一般社団法人 高知県造園業協会	⑤	第1回高知県コンストラクション甲子園	①県内の高校生に対して、建設業のやりがいや魅力を発信して将来の進路に寄与する。②高校生の親世代、祖父母世代の建設業に対する理解の向上③高校進学において、土木系学科を目指す小中学生の増加④建設事業者と学生が早期接点を持つこととで得られるシナジ効果。	県内の高校生を対象とした建設業に関わるクイズ大会を開催し、高校生の頑張りと地域の建設業者との関わりの様子を放映することとで、高校生が建設業に対する興味を持ち、小中学生から高校生の親世代・祖父母世代など幅広い年齢層の視聴者に建設業に対する理解を深めてもらう。
	⑥	造園業の魅力発信事業 (造園技術講習会・イベントでの作庭展示)	木・石・土・水・風・光とともに生活する庭園文化の維持、発展の大切さや造園業の魅力発信、技能技術の習得、新規入職者の増加、離職者の減少、就業の定着、労働環境の整備	造園技術講習会に加え、活動を再開した青年部による真洋電化中央公園で開催される都市緑化祭で(庭を展示する)作庭展示をすることとで、来場された方に対して日本の伝統文化である造園業の魅力発信の強化及び高知県の造園技能の底上げを図る。
中村地区建設協同組合	⑦	社会貢献活動を通じた建設業界の魅力発信事業(防災イベント)	若年層や入職候補者に対して、地域と連携し、建設業の強みや特性を活かした、炊き出し訓練等の防災イベントを通じて、建設業がインフラ整備や維持に貢献し、地域の防災力向上にも貢献することとを伝えると同時に、建設業にやりがいや親しみを感ずってもらうため。	かまどとベンチの奇譚、防災イベント(炊き出し訓練・防災講座等)を実施し、一部の老朽化したベンチ3基については修繕を行うこととで、「建設業=地域の防災力」としての重要性を発信し、建設業の魅力・やりがい伝える、若手入職者の増加を目指す。

事業者名	補助金額
高知県建設業協会	5,915,000
高知県造園業協会	335,000
中村地区建設協同組合	750,000
合計	7,000,000

【北海道コンストラクション甲子園】

令和7年1月25日実施

■当日の様子



経営戦略ための働き方改革

～企業永続を目指して～

ミタニ建設工業株式会社
総務部 人事：村越 仁

建設業界の課題

◎慢性的な人手不足

→建設業就業者数：481万人(2024)、ピーク時：685万人(1997年)から約7割まで減少

出典：国土交通省「建設業を巡る現状と課題」 総務省「労働力調査(基本集計)2024年9月分」

◎高齢化の進行

→60歳以上の技能者：25.7%(2021)、29歳以下の技能者：12%(2021)

29歳以下労働者の割合は全産業の中で最低比率

2025年には日本全体で団塊の世代800万人が後期高齢者(75歳以上)に

出典：厚生労働省「建設業の人材確保・育成に向けた取組を進めています」

◎イメージ悪化と産業の縮小

→月間実労働時間：162.9時間、全産業平均：135.1時間

事故死亡率：0.43人(1万人あたり3ヶ月平均)・・・平均の4倍

未完了工事:15兆円(過去最大)、生産性向上課題：IT活用は英仏の5分の1

出典：厚生労働省「毎月勤労統計調査令和6年2月分」 建設産業研究院「2025年1～3月建設業事故志望者現況」 日本経済新聞「2025年6月8日号」

ミタニの課題

- ◎ 2012年独占禁止法違反(官製談合)によるイメージ悪化と、採用活動を停止していたため、30代社員が極端に少ない

→30代社員：8.1%(全社員に占める割合)

- ◎ 離職率の高さ、残業の多さ、人材育成体制の未整備

→新卒離職率：50%以上(～2019)、月平均残業時間：32時間(2019)

- ◎ トップダウン型の社風から脱却できず、労働環境や育成面の課題から多くの社員が早期に退職する

- ◎ 少子高齢化の影響で、深刻な人材不足が予想される

経営理念

建設業を進化させ、日本を変えていく

1. 私たちは、全社員の成功(幸せ)をサポートするために存在する

「社員にとって働きやすい環境づくり」に着手

2. 私たちは、新しいことに果敢に挑戦し、「建設」という「ものづくり」を通じて、人と人、地域と地域の交流を生み、昨日よりも住みやすい今日を提供するために存在する

取組み

01 | 社風をつくる「コミュニケーション」

02 | 育成環境の整備

03 | 女性活躍のための取組み

04 | 男性育休の推進

05 | 自律型人材の育成

06 | 社員主導型組織づくり

07 | 全社的時間外労働の削減

03.女性活躍のための取組み



トイレカー整備



育児短時間勤務



法定を上回る休暇整備



女性社員によるパトロール



社内保育園

まとめ

1. 労働時間の削減と柔軟な働き方の実現

- ☑月平均残業時間**32時間** (2019) ⇒ **20時間** (2023)
- ☑年間平均有給取得日数**2.6日** (2016) ⇒ **13日** (2023)
- ☑時短勤務**5名** (男性1名、女性4名) (2024)
- ☑男性育休取得率**100%**、平均**48日** (2024)
- ☑障がい者雇用**4名**/198名 (2024)

2. 生産性の向上

- ☑業務効率化のために**RPA**や**AI**を業務に活用
- ☑社内で実施している勉強会**14個**
 - ①内定者研修 ②新入社員研修 ③自律型研修 ④チーム研修 ⑤個別コーチング
 - ⑥現場見学ツアー ⑦AI勉強会 ⑧育成勉強会 ⑨技術習得勉強会 ⑩若手勉強会
 - ⑪若手ミーティング ⑫お金の勉強会 ⑬健康セミナー ⑭SDGs交流会
- ☑リーダー向け育成勉強会**11回** (2024)
- ☑若手向け朝の勉強会**51回** (2024)

3. 企業イメージの向上と人材確保

- ☑新卒採用における離職率**50%以上** (～2019) ⇒ **0%** (2022～24)
- ☑採用者数 (2024年度**12名**、2025年度**3名**入社 (高知高等)、2026年度**5名**内定済)
- ☑優秀な人材の確保 (高知大学2名、高知工科大学3名、愛媛大学1名、高知高専3名) (2022～2025)
- ☑企業説明会での学生着席数**41名** (2019) ⇒ **179名** (2024)
- ☑経済紙「**理念と経営**」から取材を受け
社長インタビュー記事が掲載 (2024年5月号)
- ☑**ホワイト企業大賞【特別賞】受賞**
 - 2022年度「働きがい追求賞」
 - 2023年度「チームワークが創る、顧客満足と社会貢献賞」
 - 2024年度「未来をつくる社員主導の会社づくり賞」

令和8・9年度入札参加資格に係る地域点数の改正について

令和7年2月17日
高知県土木部
土木政策課 建設業振興担当
電話:088-823-9815

令和7年度に高知県が実施する入札参加資格審査の改正概要は次のとおりです。

評価項目一覧

【R8・9年度】

1. 工事成績評定
2. 優良工事表彰
3. 監理技術者数
4. 安全対策
5. **建設キャリアアップシステム**
6. 公共工事元請完成工事高
7. 工事施工能力評定
8. 指名停止
9. 次世代育成支援企業認証等、高知県見守り雇用主認証企業取得並びに協力雇用主としての登録及び雇用実績
10. **男性育休**
11. コンプライアンス研修
12. **障害者雇用**
13. 災害対応協力等
14. 県産品の使用
15. 地域ボランティア
16. SDGsへの取組
17. BCP策定
18. 担い手確保
19. **パートナーシップ構築宣言(新設)**

5. 建設キャリアアップシステム(変更)

加対象(R8・9年度)	評価点	(※必要な措置)
①事業者登録を完了している場合(※R6・7から変更なし)	10点	建設工事に従事する者が、CCUSカードの読み取りやスマホアプリなどを通して、入退場履歴を記録できる措置を実施していること
以下に該当すれば①に加算		
②元請けで受注した建設工事に於いて、従事する者の就業履歴を建設キャリアアップシステムに蓄積するために必要な措置(※)を実施した工事	1件につき2点加算(上限10点)	

10. 男性育休(変更)

加対象(R8・9年度) ※①～③のいずれかを加点	評価点
①直近5年以内に男性の育児休業取得者(14日以上)	5点
②高知県ワークライフバランス推進企業認証のうち、次世代育成部門の認証を取得しており、直近5年以内に男性の育児休業取得者(14日以上) (※R6・7から変更なし)	10点
③高知県ワークライフバランス推進企業認証のうち、男性育休推進部門の認証を取得	20点

12. 障害者雇用(変更)

- 障害者雇用促進法改正による変更
①法定雇用率:2.3%▶2.5% ②常用雇用労働者数:43.5人に1人▶40.0人に1人

19. パートナーシップ構築宣言(新設)

- パートナーシップ構築宣言とは
事業者が、サプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄を目指し、「発注者」側の立場から、「代表権のある者の名前」で宣言するものです。
■加対象及び評価点
パートナーシップ構築宣言を作成のうえ、公益財団法人全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに登録した場合は評価点10点

■建設業人材育成事業費補助金（R6 創設）の状況

- ・事業者の建設ディレクター導入を後押しするため、新たな補助金を創設

【令和6年度】

- ・実績：9 事業者（10 名）

男性 2 名（20 代）

女性 8 名（10 代：1 名、20 代：6 名、30 代：1 名）

R6.4.1 以降の雇用 5 名（10 代女性：1 名、20 代女性：4 名）

【令和7年度】（令和7年7月時点）

- ・申請：4 事業者（7 名）

男性 2 名（10 代：1 名、30 代：1 名）

女性 5 名（20 代：5 名）

R6.4.1 以降の雇用 6 名（10 代男性：1 名、20 代女性：5 名）昨年度より 1 名増

【R7 年度の取組】

各研修やメールにてアドバイザー制度を積極的に周知し、女性活躍の場の拡大に繋げる。

【周知（予定）状況】

6 月：県内建設事業者（入札参加資格保有事業者）あてにメールを送付

9 月 1 日～12 月 19 日（予定）：

働き方改革研修（WEB）にて、「建設ディレクターの概要説明及び導入メリットの紹介

9 月以降：建設業人材育成事業費補助金について、「おはようこうち」で放送予定（テロップ）

建設ディレクターの育成を支援します!

(高知県建設業人材育成事業費補助金)

建設ディレクターっていい!

建設ディレクターは、デジタル技術を活用して、現場技術者に代わって書類作成業務などを担っており、現場技術者の負担軽減や、作業の効率化と就労時間の短縮を図る効果的な取組として「働き方改革」につながります。

建設ディレクターの69%は10代～30代、75%は女性となっております。

「残業ゼロを目標に」

当社では約6年前から現場技術者の負担軽減、休日確保、残業ゼロを目的として工務事務部(今でいう建設ディレクター)を設置しました。

その結果、社員の休日出勤、残業はほぼゼロとなり社員のやる気が増えて大いに働き方改革につながっております。



建設事業者
(高知市)

「バックオフィスから現場支援」

建設業で働いた経験がなく入社しました。専門用語が多くなかなか理解できないなか建設ディレクターの講座を受ける機会をいただき、基礎から学ぶことができました。

現在は安全関係の書類や施工体制台帳の作成などを行っています。これからもっとスキルを身につけ、現場の負担を減らせるように頑張ります。



建設ディレクター
(高知市、20代女性)

補助金について

■補助対象: 県内に主たる営業所があり、**建設業許可を有している事業者**

■補助金額: **上限82,500円/人**(※1事業者あたり最大5人まで)

■補助内容: 建設事業者が常時雇用する若手人材(※申請年度末時点で34歳以下)を建設ディレクターに育成する際に負担する講座(建設ディレクター協会主催)受講料の一部(1/4)を補助

■申請期限: 令和7年度中

※講座受講前までに交付決定を受け、年度末までに実績報告を提出すること。
※予算額上限に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

■HPアドレス: <https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/kennsetugyoukasseika/>

※当講座は、厚生労働省の人材開発支援助成金の助成対象となり、

条件によっては全額負担なしで受講できる可能性があります。

詳しくは、高知労働局助成金センター(TEL: 088-878-5328)までお問い合わせください。



受付窓口

高知県土木部土木政策課 建設業振興担当 森光

書類送付先

170201@ken.pref.kochi.lg.jp

電話番号

088-823-9815

令和7年度 入札・契約制度改正について（工事）

高知県土木部

（問い合わせ）土木政策課 契約担当
電話：088-823-9813（直通）

令和7年度に高知県が発注する建設工事に係る入札・契約制度の改正概要は次のとおりです。

1 総合評価方式の運用の変更

（令和7年4月1日以降に公告を行う工事に適用）

総合評価方式の一般競争入札において、総合評価基準の一部を改正。

【改正】生産性向上の取組 ※選択項目

ICT活用工事の 推進	設計図書で指定されたICT活用工事を当該工事で実施（削除：過去3年間の実績） （削除：当該工事での実施 2.5点）	5点
	上記以外	0点

- ※ 「同一工種の実績」を取り止め、「当該工事での実施」により加点する。達成できなかった場合には、工事成績評価の減点措置を行う。
- ※ 「ICT活用工事」は、別途定める高知県のICT活用工事実施要領により、指定された施工プロセスを実施する場合に評価する。
- ※ 対象工事1.25億円以上⇒1億円以上

【改正】災害復旧工事等の対応状況（過去3年） ※選択項目

災害復旧工事等の 対応状況	以下のいずれかに該当 ・災害復旧工事の受注実績2件以上 ・災害協定の締結 ・災害時緊急対応実績1件以上	5点
	災害復旧工事の受注実績1件	2.5点
	上記以外	0点

- ※ 災害復旧工事を円滑に履行し、県内の防災力の向上に繋げることを目的として、災害復旧工事の受注状況に応じインセンティブを付与する。
- ※ 高知県又は当該工事箇所を所管する土木事務所（又は所内事務所）との災害協定の締結と、災害時緊急対応実績（緊急発注）を評価対象とすることで、地域に根ざした建設業者を評価する。

【新規】CCUS（建設キャリアアップシステム）の事業者登録 ※選択項目

CCUSの 事業者登録	事業者登録 有	5点
	事業者登録 無	0点

- ※ 個々の技能者の就業実績や資格を登録し、技能の公正な評価、工事の品質向上、現場作業の効率化などにつなげるシステムである。
- ※ まず、事業者登録を評価することにより、今後の工事現場での活用につなげる。
- ※ 1.25億円以上の工事を対象

2 「週休2日制工事」の実施の促進

（令和7年4月1日以降に公告（指名通知）を行う工事に適用）

現在、全工事を「発注者指定型」で運用しているところですが、週休2日の質の向上を図るため、「通期の週休2日」を「月単位の週休2日」に拡大。
なお、社会的要請等により早期の工事完成が必要な工事については、「月単位の週休2日交替制」に改正。

3 「クールワークタイム制度（サマータイトム制度）」の導入

（工期が6月から9月にかかる工事に適用）

近年の地球温暖化による気温の上昇に伴い、猛暑日でなくとも熱中症のリスクが増加するため、現場作業時間を8時から11時及び14時から17時などとする「クールワークタイム制度（サマータイトム制度）」を導入。

また、短縮される作業時間を確保するため、工期延長が可能。

4 その他

（1）配置予定技術者における従事期間の見直し

配置予定技術者が産休育休を取得した場合は、その期間を同種・類似工事の評価対象期間に追加。

（2）現場代理人の変更届に関する緩和

現場代理人が育児休暇を14日以内（土日祝含む）の期間で取得する場合に限り、常時、監督職員と連絡が可能な体制を整えたうえで、当該工事現場に精通した代理の技術者を、事前に書面（確認票等）により提出することで、「現場代理人変更届」及び各種書類の変更を省略できる。

（3）総合評価方式の評価基準の周知

今後の評価基準として「ワークライフバランス推進企業認定」の新設を検討しており、R7は周知期間とし、R8から運用を開始する。

【R6年度実績】

- ◆建設現場のデジタル化に関する研修等（参加者計：325名）
 - ・ICT機器の導入による生産性向上の事例を紹介する現場見学会
デジタル化促進モデル事業現場見学会 【9回】参加者：134名
 - ・現場技術者を対象としたICT技術の体験から3次元設計データ作成方法の習得等を目的とした研修
ICT技術研修会（はじめの一步体験会） 【6回】参加者：79名
ICT技術研修会 【4回】参加者：70名
 - ・経営者を対象としたICT活用工事に関するセミナー
i-Construction講座 オンライン開催【1回】参加者：42名

- ◆維持管理エキスパート研修 【16回】参加者：114名
 - ・インフラ施設の点検技術等を習得し、維持管理に関する技術者の育成を目的とした研修

【令和7年度の取り組み】

- (1) ICT技術等に関する研修会を開催
 - ①ICT技術研修会（はじめの一步体験会）

8月6日	四万十市会場
8月7日	四万十市会場
8月8日	高知市会場
予定10月21日	四万十市会場（後日WEB配信）
予定10月22日	香南市会場（後日WEB配信）
予定10月28日	須崎市会場（後日WEB配信）
予定10月29日	田野町会場（後日WEB配信）
予定11月	WEB（2回）
予定10-11月	2回
予定11月開催	WEB
 - ②ICT技術研修会
 - ③新技術に関する研修会
 - ④維持管理エキスパート研修（新技術）
 - ⑤i-Construction講座



ICT技術研修会（はじめの一步）



ICT技術研修会



デジタル化促進モデル事業
現場見学会



維持管理エキスパート研修

高知県コンプライアンス研修 / 働き方改革支援研修

事業者用 コンプライアンス研修

研修動画一覧

閲覧する動画のサムネイルをクリックしてください

ホームページ内の動画のダウンロード・転用転載は固くお断りしております。

本研修資料の二次利用（引用・転載・コピーなど）はお控えください。



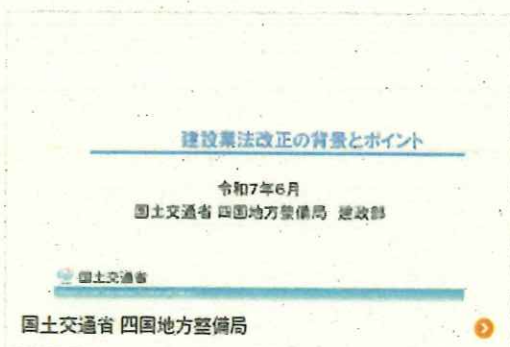
高知県警察本部 刑事部 組織犯罪対策課

2



公正取引委員会

2



国土交通省 四国地方整備局

2



こうち男女共同参画センター ソーレ

2

動画閲覧後、アンケートに答えて下さい

 アンケートに答える

高知県コンプライアンス研修 / 働き方改革支援研修

働き方改革支援研修

研修動画一覧

閲覧する動画のサムネイルをクリックしてください

ホームページ内の動画のダウンロード・転用転載は固くお断りしております。

本研修資料の二次利用（引用・転載・コピーなど）はお控えください。

 厚生労働省 建設業における働き方改革 ANERA・LIFE 高知労働基準監督署	経営戦略のための働き方改革 ～企業水鏡を目指して～ ミタニ建設工業 株式会社
女性が輝く建設業界へ ～ 高知土木女子（KDJ）の取組み ～ 高知土木女子（KDJ）	事業者向け働き方改革支援研修 ICT活用成果 福岡建設 株式会社
INOKOZA 働き方改革文庫研修 建設ディレクターの概要説明 及び導入メリット紹介 伊豆建設 株式会社	

動画閲覧後、アンケートに答えて下さい

 アンケートに答える

アンケート回答にあたり、利用者登録は不要です